

## －おわりに－

卒業文集の一文で息子が受験について書いていた。『自分でやりたいと言って始めた中学受験。小学6年の夏から本格的に取り組んで周りと比べたらかなり遅いスタートだと感じて正直不安だった。でも、やればやるほど、楽しくて……。』受験勉強が楽しかったと書いていて驚いたが、それ以上に本当に嬉しかった。家に帰ると兄弟姉妹がいて賑やかな家庭でも、集中して努力出来たことは、またまた親バカだが素晴らしいと思う。

いつしか息子の体験記のつもりが、親の目線からの内容にほとんどなってしまった。

子は鎧（かすがい）であり、宝である。身体的に大きく、精神的に自立するまでには多くのサポートを必要とするが、子どもがやりたいと言ったことに対して、夫婦で全面的に協力して取り組む最後の機会が中学受験になったと思う。ある方の教育書には、子どもは負債と書かれていた。子どもを立派に育て、自立させるまでには経済的な負担はそれなりにある。我が家も4人の子どもを育てるにあたって、毎月毎月多くの出費がある。そして、その先にまとまった支出があり、まだまだ子どもたちは挑戦したいと言い、それを叶えてあげたいと心の底から思っている。6章でも書いたように、無理とは言いたくない。さまざま

まな価値観があることは理解しているが、我々夫婦には子どもがいるから頑張れる。子どもがいるから日々のドタバタを楽しむことが出来ている。たとえ多くの経済的負担がかかろうと、負債ではなく、同じような表現をすれば資産でしかない。

息子のことに話を戻すと、中学校進学後も相変わらず毎朝ギリギリに起きて来て慌てて準備をして家を出ていくが、2018年9月現在、1日も休まずに通っている。私自身は地元の公立中学校に通っていたが、どちらかと言えば行かされていると言った感覚が常にあった。だから、学校で嫌なことがあったり、少しでも体調が優れない時は何とかして休もうと必死だった。正直、嫌々学校に通っていた。自らの意志で選択した高校時代もまだその感覚は抜け切らず、大学に行くまで学校とは嫌な所と言った感覚を持っていたし、勉強はつまらないものと思っていた。そういう意味でも、息子は全部で7校の中学校を受験して、地元の公立中学校も含めて、自分で選択肢を増やして、自ら行きたいと思う学校に自分の意志で通っている。親としてとても嬉しいし、羨ましい。

今回の体験は長男の一言から始まり、夫婦揃って初めての経験だった。楽しく必死に受験勉強を頑張る姿を次男や長女、次女に見せてくれたことに感謝している。現時点で、他の兄弟姉妹は勉強にそこまで熱心ではないが、勉強以外のことでも一生懸命楽しく頑張れる目標を見つけて欲しい。そして、その時に

はまた家族皆で協力して、その子の可能性を広げてあげたい。4人子どもがいることは、楽しみの反面、心配なこと、不安なこと、思っているように行かないことも多くあるけど、つい最近まで子どもと同じような感覚しか持ち合わせていなかった未熟な夫婦（私だけ？）に成長させてくれる機会を4倍も多く与えてくれている。感謝している。そして、4回もお腹を痛めて大切な子どもたちを出産してくれた妻にも感謝している。

これからも、夫婦ゲンカあり兄弟姉妹ゲンカあり、親子ゲンカありの騒がしく時には暗い空気が流れる時間も過ごすだろうけど……。振り返ってみれば良い思い出になっているよう、今を一生懸命必死に楽しく過ごして行こう！！

S L : 1 9 - 3 2 2 0 - 0 0 5 6

ソニー生命保険(株) 大分支社

〒 870-0029 大分市高砂町 2-50

オアシスひろば 21 9階

TEL 097-532-9200

ライフプランナー 山田新悟

—最後まで読んでいただき、有難うございました。— ^ - ^

**※全文をご覧になりたい方は小冊子プレゼントフォームへお進みください。**